

平成28年度の ごみ収集量 および 資源化量を 公表します

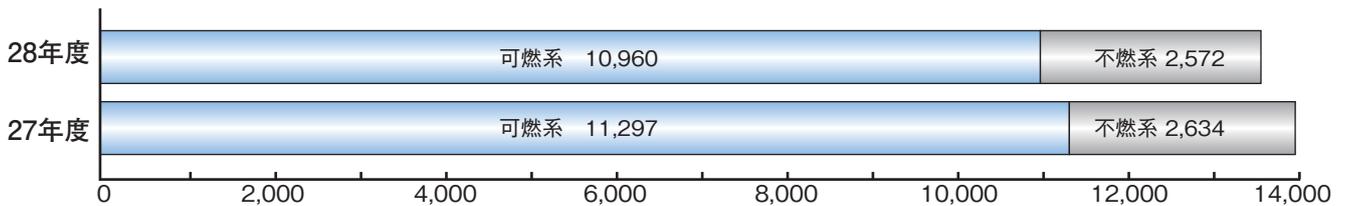
☎ クリーンセンター
☎ 728-5321

平成28年度に町で収集したごみの量は13,532tでした。前年度と比べると2.9%の減となり、年間1世帯あたりに換算すると767kg、前年度比では4.6%減、住民1人あたりに換算すると304kg、前年度比では3.8%減となっています。

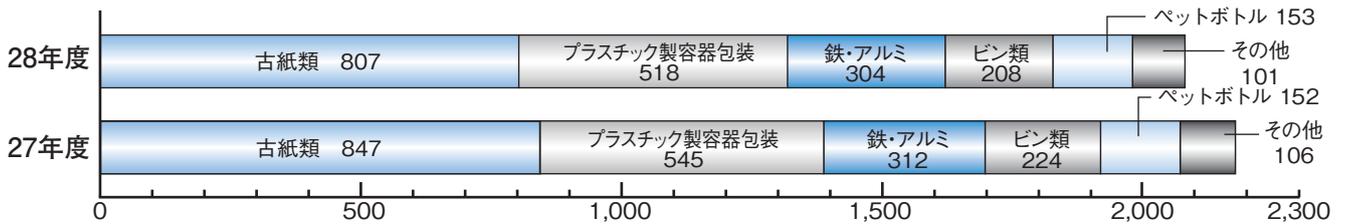
クリーンセンターでは、収集したごみを衛生的に焼却、破砕処理を行い、引き続き施設の適正な運転管理に努めています。ごみの減量化を図り、快適な暮らしを維持するためには、みなさん一人ひとりの小さな積み重ねも大切です。

ごみは、混ぜてしまうとただのごみとなってしまいますが、適正に分別をすることで資源物として取り扱うことができます。一人ひとりが意識して、ごみの減量化、分別にご協力ください。

町のごみ収集量 (単位：t)



ごみの再資源化量 (単位：t)



廃棄物の野外焼却は 禁止されています

家庭でごみを燃やさないで

構造基準に適合していない家庭用のごみ焼却炉や事業所の小型焼却炉のほとんどは、不完全燃焼を起こしやすく、ダイオキシンを多く発生させてしまうため、使用できません。庭先などで焼却炉を使わずにごみを燃やしたり、ドラム缶などを使って焼却することはできません。雑草や落ち葉、剪定した枝等の焼却についても、洗濯物や布団に臭いがついたり、ご近所トラブルの原因になることがありますので、家庭から出るごみは町のごみ収集をご利用ください。



ごみを減らす工夫を心がけて

「使い捨て商品は買わない」「長く大切にものを使う」「レジ袋はもらわない」など、ごみを作らないように心がけましょう。また、ごみを分別しリサイクルを徹底するなど、私たち一人ひとりが、毎日の生活を見直していくことが大切です。そして、ごみ収集カレンダーに従ってごみを出しましょう。

☎ 環境対策課 ☎ 2252・2253

雨の日に 古着は出さないでください

収集した古着は海外でリユース（再使用）されています。

しかし、雨などで濡れてしまうとカビが発生し、リユースできなくなってしまいます。

古着の収集日が雨天の場合は、**次回以降の雨天でない収集日**に集積所へ出していただくなど、再資源化へのご理解ご協力をお願いします。

ご注意ください

- 古着は必ず透明・半透明の袋にいれてください。
- 汚れたものは洗濯し、よく乾燥させてから出してください。
- 破れたもの、ボタン・チャックなどがはずれた衣類などは、素材により分別してお出してください。
- 布団・じゅうたんなどは粗大ごみになります。



☎ 環境対策課 ☎ 2253

狂犬病予防注射はもうお済みですか？

環境対策課 2252



町では、4月に集合狂犬病予防注射を実施しましたが、まだお済みでない方は6月30日までに、かかりつけもしくは最寄りの動物病院で予防注射を受けて環境対策課で所定の手続きを行ってください。

なお、この事業に協力いただいている上尾伊奈獣医師協会に所属する動物病院では、集合注射と同等の扱いで、狂犬病予防注射および犬の登録、注射済票の交付手続きを行うことができます。

※犬が死亡したとき、犬の飼い主が変わったとき、飼いの住所または、犬の所在地に変更があったときなどは環境対策課にご連絡ください。

上尾伊奈獣医師協会

動物病院名	住所	電話番号
石井どうぶつ病院	上尾市中分5-230	786-4368
井上動物病院	上尾市小泉377-97	726-0090
かない動物病院	上尾市平塚2013-3	771-8022
かんだ動物病院	上尾市二ツ宮956-5	777-2555
動物病院くまごろう	上尾市柏座2-3-10	771-6437
藤倉獣医科医院	上尾市向山1-60-36	781-5577
プラザ動物病院	上尾市愛宕3-1-40 パリュウプラザ内1F	772-5400
政木どうぶつ病院	上尾市上町1-9-3	771-0111

?? 狂犬病ってどんな病気??

狂犬病とはウイルス性の感染症で、犬だけでなく人はもちろん、猫、猿、馬などあらゆるほ乳動物に感染します。この病気は発病した動物にかまれることで感染し、しばらくの潜伏期間ののちに発病します。戦後日本でも狂犬病が流行し、多くの人の命が奪われました。発病すれば全身麻痺、呼吸困難などを起こし100%死亡する大変恐ろしい病気です。

1950年、狂犬病予防法が施行され、狂犬病予防注射の接種、輸入犬の検疫、野犬の捕獲等を徹底した結果、1957年以降日本では狂犬病は発生していません。しかし、世界のほとんどの国では狂犬病撲滅に成功しておらず、いまだに発生しています。交通機関が発達した現在では、他国から狂犬病が日本に侵入することも十分考えられます。

私たちの国では、不幸な事に平成18年度に2名の方が狂犬病で亡くなりました。



狂犬病は、撲滅された病気ではなく、現在においても世界で毎年5万5千人もの方々が亡くなっており、発病してからでは有効な治療法もなくほぼ100%死亡する大変恐ろしい病気です。このため、狂犬病予防注射を徹底的に行なうことが大変重要です。犬を飼われている方は、社会に対する責務として犬の登録と毎年1回の狂犬病予防注射を必ず受けてください。

光化学スモッグに気をつけましょう

環境対策課 822-5199

光化学スモッグは、工場や自動車等から排出される窒素酸化物や炭化水素に太陽の紫外線があたることにより発生します。

目や喉の粘膜に刺激を与え、健康被害を引き起こすことがあります。

注意報が発令されたら

- 屋外での激しい運動は避けましょう
 - 目などに刺激を感じたらすぐ屋内に入りましょう
 - 乳幼児、お年寄り、病弱な人は、健康な成人よりも被害を受けやすいので、特に注意しましょう
- ※自動車の使用を控えるようご協力ください

光化学スモッグ発令情報入手方法

- パソコンから
<http://www.taiki-kansi.pref.saitama.lg.jp/>
- 携帯電話から (各社共通)
<http://www.taiki-kansi.pref.saitama.lg.jp/m/>

